

平成28年度 事業報告

目 次

◎ 平成 28 年度外国人旅行者の概況

◎ 事業実施状況

I 公益目的事業

1 海外からの旅行者誘致に関する事業

- (1) 観光マーケティング事業
- (2) オリンピック・パラリンピックを契機とした東京観光PR
- (3) リオデジャネイロ五輪を活用したPR
- (4) 東京観光レップの運営
- (5) 民間事業者と連携した旅行者誘致事業
- (6) 有望市場におけるプロモーション事業
- (7) 東京からの日本の魅力新発見事業
- (8) 地方連携参画型広域プロモーション
- (9) ビジット・ジャパン (VJ) 地方連携事業
- (10) 海外青少年の教育旅行受入促進事業
- (11) 情報の発信、共有及びネットワークの拡大等

2 コンベンション誘致に関する事業

- (1) ビジネスイベントのマーケティング調査・分析等業務
- (2) 国際会議誘致・開催支援事業
- (3) 企業系ビジネスイベントの誘致開催支援事業
- (4) 展示会・イベント誘致・開催支援事業
- (5) ビジネスイベント情報発信
- (6) ビジネスイベントプロモーション基盤の構築
- (7) ユニークベニューの利用促進事業
- (8) 多摩・島しょの観光資源を活用したビジネスイベント開催支援
- (9) 東京ビジネスイベント先進エリア支援事業
- (10) ビジネスイベント受入環境に関する調査
- (11) 都市間連携によるビジネスイベント誘致の推進
- (12) MICE 専門人材育成事業

3 地域の観光振興に関する事業

- (1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興
- (2) 東京シティガイド検定の実施
- (3) 東京ロケーションボックスの運営
- (4) 被災地応援ツアー等の実施
- (5) 魅力を高める観光資源の開発事業の実施
- (6) 観光まちづくりの支援事業の実施
- (7) 受入環境インフラの整備

4 観光情報の発信に関する事業

- (1) 東京ブランドの推進事業
- (2) ウェブサイトによる情報発信
- (3) SNSによる情報発信
- (4) ウェルカムカードの製作
- (5) 東京観光情報センター等の管理運営
- (6) 広域的な観光案内拠点等の整備及び運営
- (7) 観光ボランティアの管理運営
- (8) おもてなし親善大使育成塾
- (9) 東京マラソン応援観光マップの作成・臨時観光案内所の設置運営
- (10) マラソン祭りフォトコンテストの実施
- (11) 多言語メニュー作成支援ウェブサイトの運営
- (12) TCVB 活動の広報に関する事業

5 会報発行事業

- (1) 会報等の発行

II 収益事業

- 1 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業
- 2 ガイドマップ等の販売事業
- 3 東京シティガイド検定 公式テキスト・過去問題等の販売事業

III その他事業

- 1 T C V B ミーティングの開催
- 2 賛助会員情報交換会の開催

平成 28 年 度 事 業 報 告

◎ 外国人旅行者の概況

日本政府観光局（J N T O）統計によると、平成 28 年の訪日外国人旅行者数は 2,403 万 9 千人で、過去最高であった前年の 1,973 万 7 千人を 430 万人余り上回り、J N T O が統計を取り始めた 1 9 6 4 年以降、最多の訪日者数となった。

また、東京都の調査によれば、平成 28 年の訪都外国人旅行者数は過去最多の 1,310 万人で、対前年比 10.2% の増加となった。

◎ 事業実施状況

I 公益目的事業

1 海外からの旅行者誘致に関する事業

(1) 観光マーケティング事業 <東京都受託事業>

訪都外国人旅行者誘致の効果について、21 市場（欧米豪、東アジア、東南アジア）において成果指標 KPI（Key Performance Indicator）を活用して、今後の効果的なプロモーションに向けて、調査・分析を行った。あわせて、平成 27 年度観光プロモーションを実施した成長開拓市場（フィリピン）において、その効果検証を行った。

(2) オリンピック・パラリンピックを契機とした東京観光 P R <東京都受託事業>

オリンピック・パラリンピック開催決定の機会を捉え、観光目的地としての東京の認知度を更に向上させるため、オンライン広告の掲出やテレビ CM の放映等を実施に加え、新たに東京観光レップを活用し、海外の一般市民に対して、東京の魅力を効果的に P R した。

ア オンライン広告

Google、Youtube 等を活用したオンライン広告の実施、及びトリップアドバイザーと連携した特設サイトを構築し、東京ブランドの P R を実施した。

イ テレビ CM の放映等

CNN 及びアジア主要テレビ局のネットワークを利用し、世界において東京ブランドのテレビ CM を放映した。

ウ 東京観光レップを活用したプロモーション展開

北米 4 都市（ロサンゼルス・サンフランシスコ・ニューヨーク・トロント）、欧州 5 都市（ロンドン・ミュンヘン・ミラノ・マドリード・パリ）、豪州 1 都市（シドニー）、アジア 2 都市（北京・ソウル）の計 12 都市に設置した東京観光レップを活用して、現地の一般市民に対して東京観光の魅力を訴求した。

(3) リオデジャネイロ五輪を活用した P R <東京都受託事業>

リオデジャネイロ五輪の注目度を活用し、現地において東京ブランドを前面に押し出した P R

を行い、東京ブランドの認知度を高め、訪都旅行者の更なる拡大を図った。

(4) 東京観光レップの運営 <東京都受託事業>

全 12 都市に設置した東京観光レップを通じて、メディア及び現地旅行事業者に対するセールス活動や情報提供等を行った。また、全レップを東京に一堂に集め、東京の観光事業者向けに、海外市場セミナー及び市場別相談会を 1 回開催した。(平成 28 年 6 月 2 日)

(5) 民間事業者と連携した旅行者誘致事業 <東京都負担金事業>

ア 旅行博等への出展等

民間事業者等と連携して、アジアでは中国、韓国、台湾、シンガポール、タイ及びマレーシアに、欧米豪では、イギリス、ドイツ、スペイン、アメリカ、フランス、カナダ及びオーストラリアの国際旅行博覧会等に出展し、東京観光情報の提供及びPRを行った。また、一部の地域では、旅行博等の実施時期に合わせて、セールスコールやセミナーも実施した。

- ・中国 中国国際旅游交易会 (平成 28 年 11 月 11 日～13 日)
- ・韓国 ハナツアー旅行博覧会 (ソウル) 出展 (平成 28 年 6 月 9 日～12 日)
- ・台湾 台北国際観光展覧会出展 (平成 28 年 5 月 20 日～23 日)
- ・シンガポール Travel Revolution 出展 (平成 28 年 8 月 19 日～21 日)
- ・タイ TITF#20 出展 (平成 29 年 2 月 15 日～19 日)
- ・マレーシア MATTA Fair (平成 29 年 3 月 17 日～19 日)
- ・イギリス WTM London 出展 (平成 28 年 11 月 7 日～9 日)
- ・ドイツ ITB Berlin 出展 (平成 29 年 3 月 8 日～12 日)
- ・スペイン FITUR 出展 (平成 29 年 1 月 18 日～22 日)
- ・アメリカ The Taste (ロサンゼルス) レップ出展 (平成 28 年 9 月 2 日～4 日)
Taste of Summer (ニューヨーク) レップ出展 (平成 28 年 7 月 22 日・23 日)
J Pop Summit (サンフランシスコ) レップ出展 (平成 28 年 7 月 23 日・24 日)
- ・フランス MAP (パリ) レップ出展 (平成 29 年 3 月 16 日～19 日)
- ・バンクーバー Vancouver Outdoor Adventure & Travel Show (トロント) レップ出展 (平成 29 年 3 月 3 日～5 日)
- ・オーストラリア Travel Expo Sydney (シドニー) レップ出展 (平成 29 年 2 月 11 日・12 日)

イ 民間企業とのジョイントプロモーション

アジア及び欧米豪地域において、現地一般市民等に対し東京の魅力をPRするため、民間事業者との共同によるジョイントプロモーションを実施した。

- ・連携企業 株式会社三越伊勢丹
- ・内 容 新たにオープンした ISETAN The Japan Store において東京をテーマにしたアートイベント等の開催
- ・期 間 クアラルンプール 平成 28 年 11 月 25 日～平成 29 年 1 月 14 日
パリ 平成 29 年 2 月 14 日～25 日

ウ パンフレットの制作

アジア及び欧米豪地域の一般市民や海外旅行事業者等を対象としたパンフレットを制作し、旅行博等で配布した。

- ・アジア向け (簡体字、繁体字、韓国語、タイ語、英語)
- ・欧米向け (英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語)

エ 東京ニュース (Tokyo Monthly) の配信

欧米豪地域のメディアや旅行事業者を主な対象として、東京の最新ニュース等を定期的に配信した。

(年間 12 回、各月)

オ リテラーセミナーの実施

欧米豪地域において、リテラー (販売事業者) 等を集め、東京の魅力や最新情報を伝えるセミナーを開催した。(一部レップによる)

・セミナー実施件数：15 件

カ 海外メディア招聘

海外から東京に取材に来る新聞、雑誌、テレビ等のメディアに対して、情報提供等サポートを行い、東京の魅力的な記事や映像の作成を働きかけた。

・メディア招聘件数：52 件 (アメリカ、フランス、台湾、韓国等)

キ 海外旅行事業者招聘

訪都旅行商品の造成や販売の促進を図るため、レップ設置国の旅行事業者を招聘・サポートし、東京の魅力を PR した。

・旅行事業者招聘件数：7 件

(6) 有望市場におけるプロモーション事業 <東京都受託事業>

ア インドにおける観光プロモーション

訪日旅行者数の更なる増加が期待できるインドにおいて、旅行事業者・メディアなどを対象に、商談会や観光セミナーを実施した。

- ・都内事業者参加社数：15 社
- ・現地メディア集客：31 社
- ・現地旅行会社集客：85 社

イ ベトナム、インドネシア、フィリピンにおけるフォローアッププロモーション

平成 25 年度～27 年度に観光プロモーションを実施した、ベトナム、インドネシア及びフィリピンにおいて、現地旅行博等に出展するとともに、観光セミナーを実施した。また、東京への旅行商品造成に意欲的な現地旅行事業者を招聘し、東京の観光魅力を体験してもらうとともに、都内事業者等との商談会を開催した。

- ・ベトナム ITE HCMC 出展 (平成 28 年 9 月 8 日～10 日)
東京観光セミナー開催 (平成 28 年 9 月 13 日)
- ・インドネシア Garuda Indonesia Travel Fair 出展 (平成 28 年 10 月 7 日～9 日)
東京観光セミナー開催 (平成 28 年 10 月 11 日)
- ・フィリピン Travel Tour Expo 2017 出展 (平成 29 年 2 月 10 日～12 日)
東京観光セミナー開催 (平成 29 年 2 月 14 日・15 日)
- ・現地旅行事業者招聘：14 社 14 名 (ベトナム 4 社、インドネシア 5 社、フィリピン 5 社)
平成 28 年 11 月 28 日～12 月 2 日

(7) 東京からの日本の魅力新発見事業 <東京都負担金事業>

東北 6 県・仙台市、中国・四国地域 9 県及び航空・鉄道事業者と連携し、各地域の強みを生かした東京を基点とする観光ルートの設定、共同招聘旅行及びメディアを活用した情報発信を行い、多様な訪日旅行の新たな魅力を海外に向けて広く発信した。

ア 観光スポット等の選定及び観光ルートの設定

都内から各地を繋ぐ、外国人旅行者が公共交通機関を利用して旅行できる魅力的なルートスポットを選定し、観光ルートを設定した。

イ 観光ルートを用いた共同招聘旅行の実施

ターゲット対象国を各自治体の意向を基に決定し、対象国の外国人に発信力と影響力のある海外在住外国人及び在京外国人を選定し、招聘旅行を実施した。

ウ 多様なメディアを活用した観光スポット、観光ルート及び交通利便性等の情報発信

- ・ CHUGOKU+SHIKOKU&TOKYO サイトの新設 <http://www.chushikokuandtokyo.org>
- ・ 被招聘者による情報発信
- ・ 記事広告、オンライン広告等の実施

エ 東京と東北6県・仙台市各地の魅力を訴求するための360°動画を制作してYouTube上に公開

- ・ 制作本数：20本
- ・ オンライン広告の実施

(8) 地方連携参画型広域プロモーション <東京都受託事業>

増加する個人旅行者の多様なニーズに対応し、東京と他自治体との連携による観光立国実現へ寄与するため、共同でのプロモーション事業を実施した。

- ・ 連携自治体：石川県、宮城県、山梨県外15道府県

(9) ビジット・ジャパン (VJ) 地方連携事業

首都圏を訪れる訪日旅行者を増やし、かつ回遊性を高めて域内に長く滞在してもらうため、首都圏各地域及び交通機関等の民間事業者と連携して、広域観光マップの制作やブロッガー・メディア等を招聘して動画制作・配信等を行い、“Greater Tokyo”としての魅力を訴求した。

- ・ マップ言語：英語、簡体字、繁体字、タイ語、韓国語
- ・ 動画作成の被招聘者：中国から1名

(10) 海外青少年の教育旅行受入促進事業 <東京都受託事業>

都内の学校関係者への学校交流受入説明会の開催をはじめ、受入窓口の運営を行い、海外青少年の教育旅行の受入を促進した。また、有望市場で実施される商談会等に参加し、現地教育関係者や旅行事業者へPRを行った。

ア 受入意識調査の実施 (回答数227件 (高校、教育委員会))

イ 都内学校関係者への学校交流受入説明会の実施 (2回)

ウ 個別説明の実施 (10校)

エ 学校交流の実施・支援 (37校)

オ 台湾：「平成28年度台湾における訪日教育旅行促進事業 現地説明会」参加
(平成28年6月14日～16日)

アメリカ「The 2016 ACTFL Annual Convention and World Language Expo」参加
(平成28年11月18日～20日)

(11) 情報の発信、共有及びネットワークの拡大等

ア ニュースレターの発行

中国、韓国、台湾、香港、東南アジア等へ旅行博やセールスコール等で交流のあった現地旅行事業者やメディア等へ年4回東京の最新情報を発信した。

2 コンベンション誘致に関する事業

○ 東京開催コンベンションの実績

① 国内基準（「2015年国際会議統計」日本政府観光局（JNTO）データ）

会議開催件数 583件
国内都市別順位 1位

② 国際基準（「国際団体連合（UIA）統計2015」）

会議開催件数 249件
国際都市別順位 6位

(1) ビジネスイベントのマーケティング調査・分析等業務 <東京都受託事業>

ア 企業系ビジネスイベントのマーケティング調査・分析

企業系ビジネスイベントについて、海外諸都市の事例調査・分析、主催者ヒアリング等の調査を実施し、東京における今後の企業系ビジネスイベント誘致のためのマーケティング施策見直しに活用するための情報収集を行った。

イ KPIによる効果測定（企業系ビジネスイベント、国際会議、展示会・イベント）

企業系ビジネスイベント、国際会議及び展示会・イベントの具体的施策を測定するために設定されたKPIについて、測定を行った。

(2) 国際会議誘致・開催支援事業 <一部東京都受託・補助金事業>

ア 国際会議誘致支援

① 誘致マーケティング活動

・開催意向調査の実施

国内の学会・協会事務局及び東京近郊の大学キーパーソン4,297人に対し、開催意向調査を実施した。

・会議主催者への誘致活動

開催の可能性のある国際会議の国内対応団体等に対し、コンベンション開催に必要な情報（会議施設、宿泊施設、アフターコンベンション情報、支援策等）を積極的に提供し、東京への誘致に努めた。

・国内見本市への共同出展

パシフィコ横浜で開催された「第26回 International Meeting Expo (IME) 2016」（平成28年12月6日～7日）において、民間事業者7社と共同出展を行うとともに、12社が資料参加した。

・国内都市選定時の誘致活動

国内都市選定の際に、「コンベンション都市・東京」の優位性をアピールしたプロポーザルの作成やプレゼンテーションを実施した。

② 誘致プロモーション活動

・海外会議主催者等の視察支援

平成28年7月13日～15日	アジア太平洋地区医学会系会議主催者	6名
平成28年11月23日～25日	アジア太平洋地区技術系会議主催者	2名
平成29年3月20日～22日	国際医学系会議主催者	2名

・開催決定への支援活動

東京での開催を前提として立候補した大型国際会議について、ビッドペーパー(立候補書類)等の誘致ツール作成支援のほか、海外での総会等において東京での開催をアピールした。

③ 学術系国際会議誘致促進支援 <東京都補助金事業>

東京都内の主要大学における医学部・工学部と連携し、誘致案件の掘り起しを行った。連携先の学部・研究所の教授や研究者に向け、実務サポート体制を構築し、誘致活動のノウハウや財団支援内容に関するセミナーを実施した。さらに、連携先の教授・研究者に対し、立候補から開催地決定までの誘致活動に関する実務支援(立候補書類の制作補助、プレゼンテーションへの同行等)を行った。

連携大学は下記3校を含む6校。

- ・慶應義塾大学医学部
- ・東京工業大学
- ・東京女子医科大学 等

イ 国際会議開催支援

① 参加促進への支援活動 <東京都受託事業>

東京開催が決定した大型会議の前回大会において、東京ブースを設置し、パンフレット等を配布することにより東京の魅力をアピールした。

- ・第7回国際医薬経済・アウトカム研究学会(ISPOR)アジア太平洋会議

会期:平成28年9月3日~6日

場所:Suntec Singapore Convention & Exhibition Centre (シンガポール)

- ・第10回国際水協会(IWA)世界会議

会期:平成28年10月8日~14日

場所:Brisbane Convention & Exhibition Centre (オーストラリア・ブリスベン)

② 開催運営への支援活動

東京開催が決定した国際会議に、宣伝ツールの提供、観光や文化体験プログラム等に関する情報の提供、会議運営に関する情報の提供などを行った。

③ 国際会議開催支援プログラム <東京都受託事業>

東京の魅力をPRし参加者の満足度を高め、再来訪につなげるとともに、口コミ効果など、参加者を通じた観光プロモーションによるインバウンドの促進を図るため、東京で開催された以下の大規模国際会議に対し、ホスピタリティチームの派遣、フラッグ等の掲出、都内観光ツアーの実施や日本文化体験プログラム、テクニカルツアーの提供等を行った。

- ・第26回国際禁制学会(ICS)年次総会

会期:平成28年9月13日~16日

会場:東京国際フォーラム

- ・第33回ISQua国際学術総会

会期:平成28年10月16日~19日

会場:東京国際フォーラム

- ・米国法曹協会(ABA)国際法セッション(SIL)2016年秋季大会

会期:平成28年10月18日~22日

会場:ヒルトン東京

ウ 国際会議誘致・開催資金助成等事業 <東京都補助金事業>

① 国際会議誘致支援事業

東京都内で国際会議の開催を予定する 3 団体に対し、誘致活動経費の一部を助成する誘致助成金を交付した。

② 国際会議開催助成事業

コンベンション開催助成の交付対象会議として、19 件の国際会議が登録され、15 件の開催地が東京に決定した。

- ・ 第 33 回国際アクチュアリー会議 (2,000 名)
- ・ SIGGRAPH Asia 2018 (7,000 名) 等

エ コンベンション統計事業

UIA/ICCA/日本政府観光局 (JNTO) 等が公表するコンベンション統計に用いるデータとして提供するため、都内で開催されたコンベンションについて、会議名や主催者名、参加者数等の調査を行った。

(3) 企業系ビジネスイベントの誘致開催支援事業 <一部東京都受託・補助金事業>

ア 海外トレードショーへの出展

- ・ 上海 MICE 見本市 (IT & CM China) (平成 28 年 4 月 6 日～8 日)
- ・ フランクフルト MICE 見本市 (IMEX) (平成 28 年 5 月 16 日～18 日)
- ・ ラスベガス MICE 見本市 (IMEX America) (平成 28 年 10 月 10 日～12 日)
※民間事業者 3 社と共に出展
- ・ バルセロナ MICE 見本市 (ibtm world) (平成 28 年 11 月 29 日～12 月 1 日)

イ 企業系ビジネスイベント誘致支援事業 <東京都補助金事業>

東京での開催を検討している 4 件の企業系ビジネスイベント主催者に対し、視察時の渡航費や滞在費を補助するとともに、視察団のニーズを踏まえた視察のコース設定や都内サプライヤーの紹介などを行った。

- ・ 自動車会社ミーティング (3,000 名予定・グローバル)
- ・ 医療系機器会社ミーティング (450 名予定・中国) 等

ウ 企業系ビジネスイベント開催支援事業 <東京都補助金事業>

東京での開催を検討している 34 件の企業系ビジネスイベント主催者に対し、ギブアウェイやパーティーへのアトラクション派遣、空港等での出迎えの提供を提案し、実施した。

- ・ ベビー用品会社インセンティブツアー (921 名・中国)
- ・ 金融商品販売会社インセンティブツアー (4,663 名・グローバル) 等

エ 企業系ビジネスイベント開催支援メニュー開発 <東京都受託事業>

海外のミーティングプランナー等と連携し、海外競合都市や国内他都市との差別化を意識した東京ならではの特別感のあるメニューを開発した。

(4) 展示会・イベント誘致・開催支援事業 <東京都補助金・出資金事業>

ア 展示会における海外参加促進支援 (国際化支援)

東京で開催される展示会へのインバウンド増加を促進するため、6 件の展示会に対してブース出展費、ギブアウェイ制作費の助成や、観光 PR リーフレット提供等の支援を行った。

- ・ JIMTOF 2016 第 28 回日本国際工作機械見本市 (海外 PR 展示会: MTA Vietnam (ベトナム・ホーチミン)) 外 5 件

イ イベント誘致・開催資金助成

イベント開催資金助成の交付対象イベントとして3件の国際イベントが登録された。

(5) ビジネスイベント情報発信 <一部東京都補助金事業>

ア コンベンション開催情報発信

国内外の主催者・プランナーに対して、東京でのコンベンション開催に必要な情報や東京の都市の魅力に関する情報を提供するため、ホームページの定期更新を行った。また、海外のプランナーやプレスに対して「Business Events Tokyo eNewsletter」を年4回配信するとともに、プレスリリースも行った。

イ 企業系ビジネスイベント販促ブックレットの作成 <東京都補助金事業>

企業系ビジネスイベントの目的地としての東京をPRし、ビジネスイベントの誘致を促進することを目的として、東京で体験できるプログラム等を紹介するブックレットを700部作成し、海外トレードショーで配布したほか、ミーティングプランナー・主催企業や関係事業者に広く配布した。

ウ 広告掲載によるPR強化 <東京都補助金事業>

企業系ビジネスイベントの目的地としての東京をPRする広告デザインを制作し、以下のビジネスイベント専門誌やトレードショーのバイヤー向けウェブサイトに掲載、開催地としての東京の魅力をPRした。

- ・ IMEX Frankfurt 平成28年4月（1ヶ月間）
- ・ IMEX America 平成28年10月（1ヶ月間）
- ・ ibtm world 平成28年11月（1ヶ月間）
- ・ Cei 5月号、9月号
- ・ Mix 6・7月号、2・3月号
- ・ TTG MICE 8月号、2・3月号

エ 国内企業向け開催支援セミナー <東京都補助金事業>

都内に立地する日系グローバル企業や外資系企業のイベント担当者に対して、東京で企業系ビジネスイベントを開催する際のサポート体制やメリットを周知するセミナーを2回開催した。

オ MICE ファムトリップ

開催地決定に大きな影響力をもつ国際団体本部キーパーソン（国際会議）や開催候補地の提案等を行う立場にあるコアPCO（国際会議）、ミーティングプランナー（企業系ビジネスイベント）に対するファミトリップを行い、MICE開催都市東京の魅力を伝えるとともに、都内関連事業者とのビジネスマッチングを行うことで、東京でのMICE開催を促進した。

- ・ 国際団体本部（国際会議）：3団体4名
- ・ コアPCO（国際会議）：4社5名
- ・ ミーティングプランナー（企業系ビジネスイベント）：29社30名

カ 海外ミーティングプランナーとのネットワーク構築 <東京都補助金事業>

海外ミーティングプランナーが加盟する組織等と連携し、現地における誘致案件や優良顧客情報を収集して、現地での東京PRを実施した。

キ 訪問営業（セールスコール・ロードショー）の実施 <東京都補助金事業>

ビジネスイベント開催地としての東京の魅力を効果的に発信し、企業系ビジネスイベントの

掘り起こしを行うために、都内 MICE 関連事業者と連携して、ミーティングプランナー等への訪問営業を実施した。

- ・訪問都市 バンコク、クアラルンプール、シンガポール

ク ビジネスイベントプロモーション映像制作 <東京都補助金事業>

ビジネスイベント開催地としての東京の魅力を効果的に発信するために、MI と C それぞれの特性及び訴求対象を踏まえたうえで、主催者及び参加者向けのプロモーション映像を制作した。

ケ 東京の強み紹介パンフレット制作 <東京都補助金事業>

国際学会本部等に対し、東京の学術・産業面における強みをアピールし、会議開催の効果と認知度向上につなげるため、東京都内の大学や研究機関の集積を紹介するパンフレットを制作した。

(6) ビジネスイベントプロモーション基盤の構築 <東京都補助金事業>

海外他都市との熾烈な国際競争を勝ち抜き、国際会議誘致を拡大するため、誘致に積極的に取り組む海外主要都市のコンベンション・ビューローで構成される国際的なアライアンス組織「ベストシティーズ・グローバルアライアンス」(正式表記「BestCities Global Alliance」)に加盟し、各種情報収集や東京のプロモーションを行った。

(7) ユニークベニューの利用促進事業 <東京都受託事業>

ア ユニークベニュー利用促進プログラムの実施

都内でユニークベニューを利用したレセプション等を行った以下 2 件のビジネスイベント主催者に対して、設営費等の補助、会場側との諸調整などの支援を行った。

- ・米国証券会社イベント
会期：平成 28 年 4 月 18 日～21 日
会場：両国国技館
- ・欧州エネルギー企業イベント
会期：平成 28 年 5 月 9 日～13 日
会場：神田神社

イ ユニークベニューの施設等状況調査 <東京都受託事業>

ユニークベニューの利用を促進するため、都内施設の現況調査や受入に向けた課題整理、国内外の実施状況に関する事例調査を行った。また、ユニークベニューを PR するためのパンフレットを制作した。

(8) 多摩・島しょの観光資源を活用したビジネスイベント開催支援 <東京都受託事業>

国際会議や報奨旅行等の開催時に参加者が多摩・島しょ地域を訪れる機会を創出することを目的とした観光ツアーや体験メニューとして多摩 3 地域(南多摩、北多摩、西多摩)及び島しょ 2 地域(大島、八丈島)について各 3 メニュー、合計 15 メニューを開発した。

(9) 東京ビジネスイベント先進エリア支援事業 <東京都受託事業>

東京都が指定した以下の東京ビジネスイベント先進エリアにおいて、ビジネスイベント開催及び誘致能力を向上させるため、国際会議主催者等のニーズを踏まえた助言、提案等の支援を行った。

- ・大手町・丸の内・有楽町地区
- ・港区 六本木・赤坂・麻布エリア
- ・臨海副都心

(10) ビジネスイベント受入環境に関する調査 <東京都受託事業>

ビジネスイベント関連事業者の連携を通じた効果的な誘致活動を進めるため、都内における関連施設の立地・集積状況等を調査すると共に、ビジネスイベントの受入や事業者連携に関する課題等を整理し、今後の受入環境整備に資する検討を行った。

(11) 都市間連携によるビジネスイベント誘致の推進 <東京都補助金事業>

東京と異なる魅力を持つ国内の4都市と協力体制を構築し、共同でMICEの誘致活動等を実施した。企業系ビジネスイベントでは連携都市との相互PRパンフレットの作成、ミーティングプランナー向けファムトリップの実施等、国際会議では地方送客に向けたモデルコースの造成、PRツールの作成等を行った。

・平成28年度連携都市：札幌市、石川県、京都市、福岡市

(12) MICE 専門人材育成事業 <東京都負担金事業>

MICE ビジネスのグローバルスタンダードを身につけた専門人材を育成するため、企業系ビジネスイベント及び国際会議に関する専門人材育成講座を有料で実施した。

・前期 : 国際会議 (全6回)
日程 : 平成28年8月2日～9月13日
テーマ : 国際会議の誘致と開催～成功へのヒント～

・前期 : 展示会 (全4回)
日程 : 平成28年8月4日～9月1日
テーマ : 展示会の国際化

・前期 : イベント (全2回)
日程 : 平成28年9月8日・15日
テーマ : イベントの誘致・開催

・後期 : 企業ミーティング&インセンティブ (全6回)
日程 : 平成28年12月7日～平成29年1月25日
テーマ : インセンティブ受入のためのおもてなし向上～2020年オリンピック開催に向けて～

3 地域の観光振興に関する事業

(1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興

ア 地域振興助成 <東京都補助金事業>

地域観光団体が実施する新たな観光魅力の発掘、観光資源開発など、観光振興に寄与する事業に対して、19件の助成を行った。

申請団体	事業名
青梅市観光協会（共同事業）	御嶽山・御岳渓谷3ヵ国語（英・中・韓）パンフレット作成
上野観光連盟	国立西洋美術館、上野の建築物紹介アプリ作成
江東区観光協会	ツーリズム EXPO ジャパン出展事業
青梅市観光協会	観光協会ホームページスマートフォン対応事業
大田観光協会	第4回蒲田映画祭
国立市観光まちづくり協会	くにたち・フォトコンテスト
大多摩観光連盟	ふるさと祭り東京 2017 出展事業
府中観光協会	ふるさと祭り東京 2017 出展事業
瑞穂町商工会	ふるさと祭り東京 2017 出展事業
神津島観光協会	天上山を巡る写真を使ったオリエンテーリング
狛江市観光協会	狛江市観光写真コンクール
式根島観光協会	式根島ゆるキャラ制作
中央区観光協会	東京マラソン EXPO2017
町田市観光コンベンション協会	町田駅周辺飲食店マップ制作事業
世田谷まちなか観光交流協会	世田谷の魅力を集約した観光情報誌制作
渋谷区観光協会	PLAY! DIVERSITY SHIBUYA 来街者回遊促進アプリ開発事業
新宿区観光振興協会	「SHINJUKU 9 Stories」によるプロモーション活動
中野区観光協会	インバウンド事業
東京諸島観光連盟	旅まつり名古屋 2017 出展事業

イ 東京トラベルマートの開催

東京商工会議所との共催により、旅行商品の造成や最新観光情報の提供を目的とした商談会「東京トラベルマート」を開催した。

開催日：平成28年8月24日（水）

会場：東京商工会議所（丸の内二丁目ビル）3階会議室5・6・7

商談会：13：00～17：05 懇親会 17：15～18：30

出展団体：18社（旅行会社）

参加団体：50社（サプライヤー企業 42社、自治体・観光協会等 8団体）

ウ 観光情報交換会

平成28年度は観光活性化フォーラム＜東京都受託事業＞の第2部として開催した。

（詳細はP21参照）

エ 観光資源商品化支援事業 ＜観光振興基金事業＞

都内各地域の観光資源のうち、未だに旅行商品化されていない観光資源に関する企画を募集し、1件（上野観光連盟）の企画について、旅行商品の造成・販売等の支援を実施した。また、地域への誘客促進のための観光プロモーション支援を1件（神津島観光協会）実施した。内容は以下のとおり。

・商品化支援

世界文化遺産に登録された「国立西洋美術館」及び「東京文化会館」の建築物をガイド付きで見学する企画。

・観光プロモーション支援

主に中国語圏の観光客誘致を目的として、神津島の歴史、文化、生活、自然の各テーマに基づくPR映像を制作し、動画の配信を実施した。

オ 観光団体等との連携

① 日本観光振興協会

地方自治体や地域観光団体、観光関連企業等で構成される公益社団法人日本観光振興協会の各種会合に参加し、情報交換を行うとともに、観光関係功労者表彰の推薦を行った。

○ 日本観光振興協会：総会 平成28年6月9日

(支部長表彰：上野観光連盟 二木忠男会長)

○ 関東支部：評議員会 平成28年4月22日、総会 平成28年5月31日

○ 関東ブロック広域観光振興事業推進協議会 平成28年4月22日、7月26日

○ 関東甲信越静観光協会・連盟協議会：総会 平成28年4月22日、委員会 7月7日～8日（茨城県）、10月13日～14日（熊本県）、平成29年2月24日（東京都台東区）

○ 「ふるさと観光展 IN 仙台駅」出展 平成28年9月14日～16日

16団体資料等参加

② 地域団体との連携

地域観光団体等に対し情報提供を行うとともに、観光・地域振興について情報交換を行った。

○ 「ふるさと祭り東京2017」（平成29年1月7日～15日）に大多摩観光連盟、府中観光協会、瑞穂町商工会、東京ロケーションボックスが出展し、そのサポートを行った。

○ 「旅まつり名古屋2017」（平成29年3月18日～19日）に東京諸島観光連盟と連携して出展し、広域的な観光案内を行った。

○ 「ふるさと観光展 IN 仙台駅」（平成28年9月14日～16日）に墨田区観光協会及び賛助会員企業と連携して出展し、観光PRステージへの出演及び広域的な観光案内を行った。

③ 共催・協賛

・セミナーの共催

「第10期インバウンドビジネス基礎講座」

日時：平成28年7月19日～20日 場所：東京観光財団5階会議室

・音楽祭の協賛

「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2016」

日時：平成28年5月3日～5日 場所：東京国際フォーラム

主催：東京国際フォーラム

・スポーツイベントへの協賛

「2016 WERIDE 三宅島 エンデューロレース」

日時：平成28年11月12日～13日 場所：三宅島

主催：三宅島スポーツ振興会、三宅村

④ 後援

地域の観光協会等が主催する観光イベントや行事に対し、東京観光財団の後援名義を付して協力した。

<ul style="list-style-type: none"> ○ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭 2016 ○第 15 回ドリーム夜さ来い祭り ○平成 28 年度第 47 回文京つつじまつり ○平成 28 年度第 32 回文京あじさいまつり ○平成 28 年度第 31 回文京朝顔・ほおずき市 ○平成 28 年度第 38 回文京菊まつり ○平成 28 年度第 60 回文京梅まつり ○平成 28 年度第 45 回文京さくらまつり ○GTF 東京みつけ♪2016 ○ツーリズム EXPO ジャパン 2016 ○第 31 回新宿御苑・森の薪能 ○東京国際フォーラム開館 20 周年記念事業 J-CULTURE FEST/にっぽん・和 ○TRAVEL×IT CONTEST ○ラーメン Show in Tokyo 2016 	<ul style="list-style-type: none"> ○第 2 回全国身体障害者ほじょ犬サミット in 東京 ○2016 新宿エイサーまつり ○第 55 回文京区観光写真コンクール ○Fete de la Musique au Japan 2016 ○東京マラソン 2017 ○東京ミチテラス 2016 ○旅いくキッズフェス in 品川シーズンテラス ○アマチュア無線フェスティバル ハムフェア 2016 ○Tokyo Shopping Week 2017 ○東京国際プロジェクトマッピング vol.1 ○Time Out Love Tokyo Awards2016 ○第 7 回やまごころフォーラム ○Go Green Market 2016 Fall
--	--

⑤ 委員会等への参加

財団役員等が観光関連団体等の委員等へ就任し、活動に参画した。

<ul style="list-style-type: none"> ○2018 年第 11 回国際水協会 (IWA) 世界会議・展示会開催準備委員会 ○観光立国推進協議会 ○日本観光振興協会通常総会 ○日本経営協会 ○東京外かく環状道路 (関越道～湾岸線) 整備促進連絡会議 ○ヘブンアーティスト運営実行委員会 ○アジア舞台芸術祭実行委員会 ○公益財団法人東京都公園協会評議員会 ○一般社団法人墨田区観光協会理事会 ○中央区観光検定委員会 ○東京都立多摩総合医療センター治験審査委員会 ○東京都地価調査委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ○外国人対応支援マニュアル企画作成活用委員会 ○日本観光振興協会関東支部評議員会・関東ブロック広域観光事業推進協議会・関東甲信越静観光協会・連盟協議会委員 ○一般財団法人東京マラソン財団理事会 ○一般社団法人日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー理事会 ○島じまん 2016 実行委員会 ○ツーリズム EXPO ジャパン 2016 企画審査会 ○多摩の魅力発信プロジェクトに係る企画運営業務委託業者選定審査会 ○東京諸島観光連携推進協議会 ○大田区観光推進連絡協議会 ○東京観光タクシー推進協議会 ○文京区アカデミー推進協議会
---	---

(2) 東京シティガイド検定の実施

国内・海外からの訪都旅行者に対して東京の魅力を紹介できる人材の育成を目的として、「東京シティガイド検定」を実施した。

ア 第 14 回東京シティガイド検定試験

実施日 平成 28 年 11 月 27 日
 会場 明治学院大学白金キャンパス
 受験者数 1,309 名 (実受験者数 1,180 名)
 合格者数 966 名
 合格率 81.9%

イ 試験対策セミナー

実施日 平成28年10月23日及び10月30日
 会場 東京しごとセンター 講堂
 参加人数 計225名

ウ 検定委員会

第1回 平成28年7月5日
 第2回 平成28年10月24日
 第3回 平成29年3月28日

(3) 東京ロケーションボックスの運営 <東京都受託事業>

都内における映画、ドラマ等撮影に係る各種の相談窓口として、「東京ロケーションボックス」を運営した。制作会社等に対し、ロケ地情報や撮影許可に関する施設との調整、警察・消防への許可申請手続きの指導・助言などの支援を実施し、年間の問い合わせ件数は2,490件で、うち支援件数は789件だった。

また、支援作品を活用したパネル展や展示会への出展等の各種PR事業を行った。

ア 対応実績

	映画		テレビ番組			Web 映像	スチ ール	ミュー ジック ビデオ	その他 のジャ ンル	撮影 以外	合計	
	劇場 映画	その他 映画	TV ドラ マ	その他 TV番 組	CM							
問合件数	313	87	400	628	329	72	136	123	164	238	2490	
支援件数	229	30	243	93	92	10	15	20	54	3	789	
許 可 件 数	都立	28	3	40	9	10	1	0	2	8	0	101
	その他	8	7	19	10	4	0	4	2	8	0	62
	計	36	10	59	19	14	1	4	4	16	0	163

イ PR事業

【主催】

○支援作品展「ドラマチックTOKYO2016～映画ドラマで東京を遊ぶ！」

実施日：平成28年11月11日～17日

会場：東京スカイツリー

○アートワーク台座パネル展（2回開催）

実施日：平成28年5月17日～23日 平成29年3月13日～17日

会場：都庁第一本庁舎1階アートワーク台座

○TTICフィルムコミッションコーナー（常設）

開始：平成28年5月より

場所：東京観光情報センター内

○TOKYO LOCATION BOX PRESS（季刊情報紙）発行

開始：平成28年9月（秋号）より

発行部数：秋 5000 部 冬 1500 部

【出展】

- 「ジャパンコンテンツショーケース」
実施日：平成 28 年 10 月 25 日～27 日
会 場：グランドニッコー東京
- 「全国ロケ地フェア 2017」
実施日：平成 29 年 1 月 25 日
会 場：きゅりあん（品川区立総合区民会館）
- 「ふるさと祭り東京 2017」
実施日：平成 29 年 1 月 7 日～15 日
会 場：東京ドーム
- 「観光情報交換会」
実施日：平成 29 年 2 月 7 日
会 場：ステーションコンファレンス東京

ウ 学生等の受け入れ

- 石川県立金沢錦丘中学校
実施日：平成 28 年 10 月 20 日
内 容：企業訪問学習として東京ロケーションボックス事業の説明

エ 啓蒙啓発

- フィルムコミッション（FC）活用説明会
実施日：平成 29 年 1 月 31 日
会 場：東京観光財団 会議室
内 容：映像制作者へのフィルムコミッション活用促進セミナー
協 力：警視庁

- 「ツーリズム EXPO」ツーリズムプロフェッショナルセミナー講演
実施日：平成 28 年 9 月 23 日
会 場：東京ビッグサイトセミナールーム

オ 国際交流・ネットワーク構築

- 「Association of Film Commissioner International(AFCD) Cineposium」
実施日：平成 28 年 9 月 22 日～24 日
開 催：アトランタ（USA）

(4) 被災地応援ツアー等の実施 <東京都出資金、一部受託事業>

東日本大震災等により大きな被害を受けた福島県と平成 25 年の台風 26 号により大きな被害を受けた伊豆大島の観光振興・地域経済復興を支援するため、旅行事業者と連携して、旅行代金の割引事業（福島・被災地応援ツアー、伊豆大島・復興応援ツアー）を実施した。また、震災により大幅に減少した福島県の教育旅行復興に向け、福島県が実施する事業と連携し、都内の学校が実施する福島県への教育旅行に対して、バス料金に対する経費の一部補助を実施した。

ア 福島・被災地応援ツアー

① 宿泊・日帰り旅行支援

事業概要：旅行会社で購入する東京都から福島県への宿泊旅行と日帰り旅行に対し、宿泊旅行1泊3,000円、日帰り旅行1人1,500円の割引を行う。

実施期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

実績：宿泊旅行15,494泊、日帰り旅行4,702人

旅行会社数：139社（東京都内の旅行会社）

② 福島県教育旅行復興支援

事業概要：都内の学校が実施する福島県への宿泊を伴う教育旅行に対し、震災後初めて実施するものに対しては5万円、継続的に実施しているものへは3万円の範囲内でバスに要する経費の1/2を支援する。

実施期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

実績：初めて実施15回 継続実施19回 計34回

イ 伊豆大島・復興応援ツアー

事業概要：旅行会社で購入する伊豆大島への宿泊旅行に対し、船利用1泊6,000円・2泊9,000円、飛行機利用1泊8,000円・2泊11,000円の割引を行う。

実施期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

実績：船利用10,717人・13,000泊、飛行機利用400人・502泊

旅行会社数：68社（東京都、千葉県、神奈川県、静岡県の旅行会社）

(5) 魅力を高める観光資源の開発事業の実施

ア 多摩・島しょ魅力発信事業 <東京都受託事業>

多角的かつ集中的なプロモーションにより、多摩・島しょ地域へのさらなる誘客を図った。

① WEB等メディアと紙媒体による情報発信

・観光PR映像の制作及び放映

制作：5テーマ（それぞれ15秒間、30秒間、2分間のもの）で制作

放映：1月より、JR首都圏のトレインチャンネル、都営地下鉄の車内液晶モニター、JR首都圏主要駅のデジタルサイネージ、JR新宿駅西口周辺の大型デジタルサイネージ及び柱面デジタルサイネージ等にて放映

TAMASHIMAロゴ：事業オリジナルのロゴを制作し、国内において商標登録

・観光PRパンフレットの制作及び配布

制作：英語、中国語（繁体字・簡体字）及び韓国語版を、増刷分含め各7,500部制作

配布：12月より、「東京観光情報センター（東京都庁、羽田空港、京成上野及びバスタ新宿）」や、現地の旅行博覧会等において配布

・テレビ番組の制作及び放映

制作：多摩・島しょ地域へのインバウンド観光を喚起するテレビ番組を制作

放映：11月より、対象のアジア5地域の他、タイ、マレーシア、ブルネイ、インドネシアにて放映

・ブロガー等の派遣

ブロガー等による情報発信を行うと共に、当該事業のWebサイトに掲載するため、以下の内容でブロガー等を各地域に派遣

国内ブロガー：多摩・島しょ地域（18 地域）に夏・秋・冬季の年間 3 回派遣（延べ 54 名）
海外ブロガー：多摩・島しょ地域（18 地域）を 5 エリアに分け、夏・秋季の年間 2 回
派遣（延べ 51 名）

・WEB サイトの構築及び運営

国内旅行者向け：既存の「tokyo reporter 島旅&山旅」サイトをリニューアルし、9 月
21 日に公開
外国人旅行者向け：多摩・島しょ 17 市町村それぞれのページや、交通アクセスページを
作成し、英語、中国語（繁体字・簡体字）及び韓国語の多言語対応に
て、10 月 31 日に公開

・雑誌等への広告掲載

国内旅行者向け：アウトドア好き、又は旅好きな 20～30 代の女性を主なターゲットと
した雑誌である BE-PAL と OZ magazine（いずれも 11 月号）へ、そ
れぞれ多摩地域、島しょ地域の記事広告を掲載
外国人旅行者向け：10 月～11 月の間に、以下の記事広告をそれぞれ掲載
<多摩地域>
ASIANA（韓国）、Good Luck Trip Tokyo（中国）、en Voyage（台湾）、
<島しょ地域>
Weekend Weekly（香港）、SILVERKRIS（シンガポール）、TimeOut
TOKYO（国内）

・Google Map ストリートビュー等の充実

西多摩・島しょ地域内の画像を「トレッカーパートナープログラム」にて撮影し、Google
Map ストリートビューに掲載。また、当該事業の Web サイトからも閲覧可能とした。

② 誘客促進イベントの実施

大規模旅行博へのブース出展やスマートフォンを活用した誘客イベント等を実施した。

・ツーリズム EXPO ジャパン 2016 へのブース出展

テーマ：Wonders, Activity, Relax, Food&Culture, Retro&Culture

出展スペース：16（うち 6 スペースは別の東京都委託事業において、都内自治体の特産
品を展示・販売）

会期：平成 28 年 9 月 23 日（金）～25 日（日）

場所：東京ビッグサイト

・みんなでつくる！多摩・島しょベストショットスタンプラリー

ア) 期間：平成 28 年 9 月 22 日～平成 29 年 2 月 28 日

イ) 内容：おすすめスポットの画像を Twitter に投稿いただき、事務局が選定した
ベストショット画像を当該事業の Web サイトに掲載

・BE-PAL 奥多摩ネイチャーウォーク（雑誌 BE-PAL との連動企画）

ア) 日程：平成 28 年 9 月 4 日（日）

イ) 場所：東京都立奥多摩湖畔公園 山のふるさと村

ウ) 定員：20 名

エ) 内容：ネイチャーウォーク、アウトドアランチ等

・OZ × 東京島旅Instagramキャンペーン（雑誌 OZ magazine との連動企画）

ア) 期間：平成 28 年 10 月 12 日～平成 29 年 2 月 15 日

イ) 内容：おすすめスポットの画像をInstagramに投稿いただき、OZ mall に掲載

イ 多摩・島しょ地域旅行商品造成・販売支援事業 <東京都出資金事業・一部受託事業>

インバウンド観光の効果を多摩・島しょにも波及させるため、外国人が海外でも購入可能な多摩・島しょ地域の着地型旅行商品造成の推進を実施

① 旅行商品の造成支援

民間旅行事業者を対象とした、多摩・島しょ地域を周遊する新規性のある着地型旅行商品等やオプションツアーの造成・販売を促進に対して造成に係る経費の一部について助成することを決定

助成決定事業者数 : 5 社

助成決定事業数 : 6 件

助成商品販売対象国：台湾・韓国・中国・香港・シンガポール・タイ・マレーシア

② モニターツアーの実施

多摩・島しょ地域の観光資源を活かした着地型旅行商品造成に向け、モニターツアーを実施した。

ア) 多摩地域モニターツアー

実施日程：平成 28 年 10 月 24 日～27 日

実施地域：青梅市・あきる野市・日の出町・福生市・奥多摩町・檜原村

参加者数：18 名

イ) 島しょ地域モニターツアー

・第一回実施

実施日程：平成 28 年 8 月 31 日～9 月 1 日

実施地域：大島

参加者数：18 名

・第二回実施

実施日程：平成 29 年 3 月 2 日～3 日

実施地域：八丈島

参加者数：4 名

ウ 多摩・島しょ地域内観光交通支援事業 <東京都受託事業>

地域内の移動アクセス手段が比較的不便な多摩地域・島しょ地域の観光資源を活かした交通手段確保型旅行商品のモニターツアーと、モニターツアーの結果を活用した実証実験を企画・実施した。

① モニターツアーの実施

ア) 多摩地域モニターツアー

・事業者向け（第一回）

実施日程：平成 28 年 7 月 27 日～29 日

実施地域：青梅市・あきる野市・奥多摩町・檜原村

参加者数：8 名

・事業者向け（第二回）
実施日程：平成 28 年 9 月 21 日～22 日
実施地域：青梅市・あきる野市・奥多摩町・檜原村
参加者数：10 名

・一般旅行者向け
実施日程：平成 28 年 9 月 21 日～22 日
実施地域：青梅市・あきる野市・奥多摩町・檜原村
参加者数：18 名

イ) 島しょ地域モニターツアー

・事業者向け
実施日程：平成 28 年 7 月 25 日～27 日
実施地域：八丈島
参加者数：17 名

・一般旅行者向け
実施日程：平成 28 年 9 月 26 日～27 日
実施地域：八丈島
参加者数：18 名

② 実証実験の実施

多摩地域の奥多摩駅より都民の森までの区間(現状一部区間でバス運行未実施)において、無料シャトルバスを運行するとともに、同時期に有料貸切タクシーの運行も行った。

<シャトルバス 実施概要>

実施日程：平成 28 年 11 月の 9 日間（12、13、18、19、20、23、25、26、27 日）
実施地域：奥多摩町・檜原村
利用者数：延べ 389 人

(6) 観光まちづくりの支援事業の実施

ア 地域における観光まちづくりの支援 <東京都受託事業>

① 観光活性化フォーラムの開催

都内の観光行政・観光協会・観光関連事業者等を対象として、地域の魅力を活かした観光振興への取組を支援する目的で 2 部構成にて実施。第 1 部では地域の観光活性化についての講演と東京都事業を活用した取組の事例発表を行い、第 2 部では情報交換や商談を行う「観光情報交換会」及び「東京都観光まちづくりアドバイザー個別相談会」を実施。

開催日：平成 29 年 2 月 7 日（火）

会場：サピアタワー5階 ステーションコンファレンス東京来場者数：215 名

第 1 部 講演会：13：10～15：30

ア) 基調講演

「地域の観光活性化に関する基調講演」

講演者：パッケン・マッケン

イ) 地域の取組事例発表講演

東京都事業（地域資源発掘型実証プログラム事業等）活用者による取組事例紹介

第2部 観光情報交換会・相談会：15：30～18：00

【観光情報交換会】

希望する観光協会・観光行政等が個別にブースを設け、主に各種メディアや旅行会社を対象として、情報交換や商談を行う場を設定

・出展団体（自治体・観光協会等）：33 団体

【東京都観光まちづくりアドバイザー個別相談会】

観光まちづくりアドバイザーによる相談会ブースを設け、希望する観光関連団体との個別相談会を実施

② 学生インターン事業

教育機関が有する人材や知見を事業運営に活用するとともに、将来の地域活性化の新たな担い手を育成するため、都内観光系大学等の学生を観光協会等に派遣した。

No.	派遣先	インターンシップ 実施期間	派遣学生	
			大学名	参加人数
1	三宅島観光協会	19日間 (8月13日～9月9日)	帝京大学	2名
2	神津島観光協会	19日間 (8月1日～8月27日)	東洋大学	1名
3	八丈島観光協会	14日間 (8月25日～9月10日)	東洋大学	1名
4	墨田区観光協会	10日間 (8月2日～8月18日)	明治大学	1名
5	中野区観光協会	16日間 (8月9日～9月7日)	帝京大学	1名
6	足立区観光交流協会	10日間 (8月15日～8月31日)	跡見学園女子大学	1名
7	世田谷まちなか観光交流協会	13日間 (7月26日～8月10日)	首都大学東京	1名
8	江東区観光協会	20日間 (8月1日～9月30日)	桜美林大学	1名
9	みたか都市観光協会	19日間 (8月15日～9月11日)	多摩大学	2名
10	町田市観光コンベンション協会	20日間 (8月1日～9月11日)	首都大学東京	1名
			多摩大学	1名
11	昭島観光まちづくり協会	12日間 (11月9日～11月30日)	明星大学	1名

③ 観光人材育成支援事業

地域の観光振興をリード・コーディネートしていくことができる人材を育成するため、地域の観光振興を担う観光協会等に対して多面的に人材育成研修を実施した。

(1)全体研修（全3回）

第1～3回「観光まちづくりの基本と、重要性を増す観光協会の役割」

日時：11月7日（月） 会場：フクラシア浜松町 参加者：10名

11月14日（月） 会場：日本交通公社 参加者：8名

11月21日（月） 会場：立川グランドホテル 参加者：8名

(2)提案型研修（全3回）

第4回「アジア人旅行者の動向と、知っておきたい中国人の価値観」

日時：12月6日（火） 会場：日本交通公社 参加者：8名

第5回「観光商品化のポイントと、現場で役立つ法律・制度」

日時：12月15日（木） 会場：日本交通公社 参加者：10名

第6回「観光地マーケティングの考え方と実践、RESASの効果的活用」

日時：1月19日（木） 会場：日本交通公社 参加者：10名

(3)オーダーメイド型研修（全3回）

第7回「ITマーケティングと情報発信～スマホ、SNSの効果的活用～」

日時：1月23日（月） 会場：日本交通公社 参加者：16名

【第8・9回 実施研修】“まち歩き”で体感する地域の新たな魅力

第8回 江東区「水辺の暮らし、その魅力を訪ねて」

日時：2月3日（金） 集合場所：深川東京モダン館 参加者：7名

第9回 台東区「上野の森で、近代建築物に親しむ」

日時：2月10日（金） 集合場所：東京文化会館 参加者：8名

イ 水辺のにぎわい創出事業 <東京都出資金事業>

事業概要 観光関連団体や水辺活動団体等が行う水辺のにぎわいを創出する取り組みに対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の5分の4以内

補助限度額 10,000千円

(7) 受入環境インフラの整備 <東京都出資金事業>

ア 観光インフラ整備支援事業

① 区市町村観光インフラ整備支援

事業概要 多言語対応の改善・強化や情報通信技術の活用など、区市町村が計画的に行う外国人旅行者向けの受入環境の整備に関する取組に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の2分の1以内

補助限度額 1億円（1区市町村当たり）

② 観光施設の国際化支援

事業概要 多言語対応の改善・強化や情報通信技術の活用など、都内民間観光施設が行う外国人旅行者向けの受入環境の整備に関する取組に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の2分の1以内

補助限度額 10,000 千円（1施設当たり）

③ 宿泊施設に対する外国人旅行者の受入環境整備支援

○外国人旅行者の受入対応の強化

事業概要 外国人旅行者ニーズに対応した利便性や快適性を向上させる目的で新たに実施する受入対応強化の取組に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の2分の1以内

補助限度額 2,000 千円（1施設当たり）

○無線LAN環境の整備

事業概要 外国人旅行者が気軽に情報を受発信できる環境を整備するため、宿泊施設が行うWi-Fi整備に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の2分の1以内（1か所当たり15,000円以内）

補助限度額 750 千円（1施設当たり）、1施設当たり最大50か所まで

④ 宿泊施設でのバリアフリー化の推進

事業概要 旅行者が安全かつ安心して利用できるよう、バリアフリー化に関する取組に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の2分の1以内

補助限度額	施設や設備のバリアフリー化整備（改修等）	500 万円
	ユニバーサルデザインルームの改修	700 万円
	コンサルティング	25 万円

イ 観光バス等バリアフリー化支援事業

① 観光バスのバリアフリー化支援

事業概要 高齢者や障害者が安心して都内観光を楽しめるよう、主要な交通インフラである観光バスについて、乗降用リフト付車両の導入に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費について、1,000 万円を限度（1台当たり）

② 観光バス乗降場等のバリアフリー化支援

事業概要 高齢者や障害者等が安心して都内観光を楽しめる環境を整備するため、区市町村等が実施するリフト付観光バスの乗降場等の造成などの取組に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の3分の2以内

補助限度額 30,000 千円（1区市町村当たり）

ウ 東京ひとり歩きサイン整備支援

事業概要 区市町村が行う多言語で表記した観光案内標識の整備、及び既存標識の更新に対して、経費の補助を行った。

補助額 新規設置 原則として補助対象経費の2分の1以内
盤面更新 補助対象経費の3分の2以内

エ デジタルサイネージを活用した観光情報の提供

事業概要 外国人旅行者の利便性向上を目的に、街なかで観光情報などを多言語で提供する高機能型観光案内標識「DISCOVER&TOKYO」の運用管理を行った。

設置個所 4か所（新宿エリア、上野エリア 各2か所）

提供情報 観光スポット、宿泊施設、飲食店、ATM など（各施設までの道順を表示）
対応言語 日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語

オ 外国人旅行者に対するWi-Fi利用環境整備支援

事業概要 外国人旅行者への情報提供機能の向上を図るため、観光インフラ重点整備エリア内の区道において、観光案内標識周辺へのWi-Fi整備に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の3分の2以内

4 観光情報の発信に関する事業

(1) 東京ブランドの推進事業 <東京都受託・負担金事業>

旅行地としての東京を強く印象づける「東京ブランド」を確立していくため、東京ブランドを国内外に向けて広くPRし、浸透を図った。

ア 東京ブランド推進プロジェクト

民間事業者や業界団体等からの連携事業の提案を受け、東京ブランドの普及・浸透に特に効果的だと思われる9提案に対し、都と提案者が共同で費用を支出し、連携して事業を実施した。

イ 東京ブランドの発信

東京ブランドを国内外に向けてPRしていくため、ブランド管理体制を構築するとともに、東京ブランドWEBサイトを運営し、情報発信及びブランドの浸透を図った。

ウ 都民向けイベント及び広告展開等の実施

「HALLOWEEN & TOKYO」や「RIVERSIDE & TOKYO」等都民向けイベントを実施した。
また、ツーリズム EXPO ジャパン、東京味わいフェスタ等の国内イベントを活用したPRも実施した。

(2) ウェブサイトによる情報発信 <東京都補助金事業>

国内外の旅行客等を対象に、9言語10種類で東京の情報を継続的に発信した。さらに、日本語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語サイトは、画面比率やサイズに応じて表示を最適化する「レスポンシブウェブデザイン」を適用した。

また、バナー広告を掲載し、広告収入を確保した。

言語	アクセス数 (H28.4月～H29.3月)
総合 TOP	132,856
日本語	23,106,162
英語	5,550,813
中国語（簡体字）	773,202
中国語（繁体字）	8,497,446
韓国語	1,420,209
ドイツ語	217,519
イタリア語	254,391
スペイン語	298,276
フランス語	333,174
タイ語	716,638
モバイル日本語	1,420,162
モバイル中国語（繁体字）	405,146
その他	53,759
合計	43,179,753

*アクセス数はページビューでカウント

*「その他」は、アクセス解析ソフトにより言語の区別がつかなかったページビューである。

(3) SNS による情報発信 <東京都補助金事業>

コミュニケーションツールや広報宣伝媒体として、その有用性が高く評価されている SNS を利用した広報宣伝活動（Tokyo Fan Club）を運営しており、Facebook、Weibo 等において、東京都内各地の旬の観光情報を発信した。

媒体	言語	読者数 (H29.3月末)
Facebook	日本語	5,027
	英語	184,472
	中国語（繁体字）	140,519
	韓国語	12,747
	ドイツ語	5,375
	イタリア語	19,637
	スペイン語	28,320
	フランス語	16,693
	タイ語	52,173
	インドネシア語	78,446
	ベトナム語	17,677
Weibo	中国語（簡体字）	22,459
WeChat	中国語（簡体字） ※月間閲覧数	1,151
NAVER	韓国語 ※閲覧数	2,983
合計		587,679

*読者数は「いいね！」をしている数をカウント

(4) ウェルカムカードの製作 <東京都補助金事業>

ウェルカムカード（ハンディガイド・ハンディマップ）の内容を企画・更新し、東京観光情報センターをはじめ、東京観光案内窓口等を通じて旅行者に提供した。また、広告掲載により、収入を確保した。さらに、ハンディガイドのアプリケーション運用を行うとともに、ムスリム対応の飲食店やモスク情報を紹介した旅行者向け冊子の英語版を製作し、配布した。

(5) 東京観光情報センター等の管理運営

① 東京観光情報センター <東京都受託事業>

国内外の旅行者向けに東京の観光情報を提供するため、東京都庁、羽田空港、京成上野駅及びバスタ新宿（新宿高速バスターミナル）の4箇所で東京観光情報センターを運営するとともに、東京観光情報センター多摩の開設に向けた基本計画の策定を行った。また、東京観光情報センター東京都庁及び全国観光PRコーナー移転計画の策定業務も行った。

- ・場 所 東京都庁（都庁第一本庁舎1階）
羽田空港（羽田空港国際線旅客ターミナルビル2階）
京成上野（京成上野駅改札口前）
バスタ新宿（新宿高速バスターミナル3階）
- ・来場者数 合計 1,106,600人（うち、外国人 665,357人/ 60%）
- ・問合せ件数 合計 615,133件（うち、外国人 455,421件/ 74%）

② 全国観光PRコーナー <東京都受託事業>

全国各地域の魅力をPRするため、観光パンフレットの配布やPRイベントの開催、特産品の販売等を行った。

- ・場 所 東京都庁（都庁第一本庁舎2階）
- ・来場者数 合計 177,031人（うち、外国人 58,987人/ 33%）
- ・問合せ件数 合計 20,149件（うち、外国人 14,015人/ 70%）
- ・イベントコーナー実施件数 50自治体

(6) 広域的な観光案内拠点等の整備及び運営 <東京都受託事業>

① 広域的な観光案内拠点等の整備及び運営

都内における観光案内機能の充実を図るため、外国人旅行者が多く訪れる10地域において、広域的な観光案内拠点を2箇所整備するとともに、都内全域では東京観光案内窓口100箇所を整備した。

また、広域的な観光案内拠点及び東京観光案内窓口が国内外の旅行者に対し都内の観光情報を円滑に提供できるよう、統一したロゴマークの整備・掲出やデジタルサイネージの整備等を行った。

② 観光案内窓口整備支援補助金

事業概要 東京都が平成28年度以降に指定した東京観光案内窓口を整備・運営する事業者を対象に、東京観光案内窓口として求められる機能の充実や必要な整備事業に対して、経費の補助を行った。

補助額 補助対象経費の3分の2以内（区市町村は2分の1以内）

補助限度額 300万円（区市町村は225万円）

(7) 観光ボランティアの管理運営 <東京都受託事業>

観光ボランティア活動を通じて、東京を訪れる外国人旅行者に東京の魅力を紹介する東京都観光ボランティアの新規募集及び管理運営を行った。また、外国人旅行者が多く訪れる新宿西口・新宿南口・上野・浅草・銀座エリアにおいて「街なか観光案内」を開始した。

・新規登録観光ボランティア数：570名（ボランティア総数2,505名）

<各種ボランティア活動実施結果>

- ・街なか観光案内対応件数：新宿西口エリア 17,152件、新宿南口エリア 15,042件、
上野エリア 36,196件、浅草エリア 4,594件、銀座エリア 1,117件
- ・観光ガイドサービス実施件数：465件
- ・観光ボランティア派遣：17回（派遣者数：延べ158名）
- ・都庁案内ツアー参加者数：2,921名
- ・都庁展望案内対応件数：14,994名

(8) おもてなし親善大使育成塾 <東京都受託事業>

中高生を対象に、オリンピック・パラリンピック開催に向けた夢を育てるとともに、外国人旅行者への対応方法や東京ならではの「おもてなし」の手法を学ぶ「おもてなし親善大使育成塾」を実施するとともに、おもてなし親善大使（修了生）を対象としたフォローアップ研修会を実施した。

- ・おもてなし親善大使育成塾 任命者数 228名

(9) 東京マラソン応援観光マップの作成・臨時観光案内所の設置運営

① 東京マラソン応援観光マップの作成 <東京都受託事業>

東京マラソンコース、応援ポイント、周辺の観光スポット、イベント情報等を盛り込んだマップのデータ作成・配布を行った。

② 臨時観光案内所の設置・運営 <東京都受託事業>

東京マラソン開催に合わせて来訪した国内外の旅行者に東京の魅力を体験してもらうため、東京マラソンEXP02017会場（東京ビッグサイト内 2/23～25）とマラソン祭り（江戸東京博物館3階特設おまつり広場 2/26）に臨時の観光案内所を設置し、東京マラソン応援観光マップの配布及び東京マラソン都内観光に関する情報提供を行った。

(10) マラソン祭りフォトコンテストの実施

東京マラソン（平成29年2月26日）にあわせ、東京都との共催により、「マラソン祭りフォトコンテスト2017」を実施した。

作品応募総数 228点

入賞・入選作品 金賞2点、銀賞2点、銅賞3点 APA特別賞1点
入選10点 合計18点

（※作品展：東京都庁にて平成29年4月中旬から下旬に開催予定）

(11) 多言語メニュー作成支援ウェブサイトの運営 <東京都受託事業>

都内飲食店等における外国人旅行者の受入環境整備を図るため、多言語メニュー作成支援ウェブサイト「EAT 東京」を運営した。

- ・サイト登録店舗数 3,524店舗（平成29年3月末時点）
- ・飲食店を対象にした「EAT 東京」の普及啓発操作説明会等 参加者数 159名

(12) TCVB活動の広報に関する事業

インバウンド誘致やビジネスイベントの誘致促進等に係る TCVB の活動を海外に対して効果的にPRするため、日本語版及び英語版のウェブサイトを運営した。

5 会報発行事業

(1) 会報等の発行

ア 「TCVB NEWS」の発行

新たなコーナーの設置やタイムリーな情報収集に努めることで、読者の期待に応える紙面づくりを行った。

- ・回数、部数 4回(季刊)、毎850部
- ・体 裁 A4サイズ6ページ、2色
- ・主な配布先 賛助会員、マスコミ、関係機関

イ TCVB メール速報の配信

速報性を活かした情報提供サービスの充実を目指し、会員及び関係機関へ週1～2回配信した。

- ・配信回数 51回

II 収益事業

1 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業

都内4ヶ所(新宿、有楽町、池袋、立川)及び島しょ地域(9町村)において、東京都から受託した東京都手数料徴収業務を実施した。また、新宿郵便局長から受託した収入印紙の売りさばき業務を新宿旅券課内において行った。

収入印紙年間販売枚数 372,055件

2 ガイドマップ等の販売事業

東京観光情報センター東京都庁において、東京教育観光マップ等を販売した。

3 東京シティガイド検定 公式テキスト・過去問題等の販売事業

(1) 公式テキスト「新・大江戸東京の歩き方」

都内各書店、東京観光財団ホームページ、東京観光情報センター東京都庁等において、公式テキスト「新・大江戸東京の歩き方」を販売した。

販売冊数：1,312冊(前年度：1,395冊)

(2) 過去問題

東京観光財団ホームページ及び東京観光情報センター東京都庁において、過去問題を販売した。

販売部数：3,069部(前年度：2,446部)

Ⅲ その他事業

1 TCVBミーティングの開催

東京の観光に関わる様々なトピックを扱うTCVBミーティングを開催した。

- 第1回：「訪日インド人観光客の動向」や「インド人の特徴や習慣について」をテーマとした講演等を実施（開催日：平成28年6月21日、参加実績：50社68名）
- 第2回：「一步先のおもてなし！～現場と考える障害者差別解消法～」をテーマに基調講演やパネルディスカッションを実施（開催日：平成28年6月28日、参加実績：34社49名）
- 第3回：「街を活かす、街を楽しむ～地域の連携と協働、各地のまち歩きについて～」をテーマとした講演等を実施（開催日：平成28年7月12日、参加実績：25社32名）
- 第4回：「観光コンテンツとしてのエンターテインメント産業：東京の現状とこれから」や「日本発世界標準ミュージカル～2.5次元ミュージカルの海外への取り組みと現状」をテーマとした講演等を実施（開催日：平成28年9月2日、参加実績：12社18名）
- 第5回：「アジアの富裕層市場」をテーマに講演等を実施（開催日：平成28年10月20日、参加実績：69社98名）
- 第6回：「一步先のおもてなし！in 神津島」をテーマに、神津島にて視察会や意見交換会等を実施（開催日：平成28年10月17日、参加実績：42社45名）
- 第7回：「一步先のおもてなし！～観光客の受入環境整備としての災害対策～」をテーマに基調講演やパネルディスカッション等を実施（開催日：平成28年10月28日、参加実績：36社48名）
- 第8回：「Who are the French？」をテーマとした講演等を実施（開催日：平成28年12月2日、参加実績：42社50名）
- 第9回：「WAZA DEPARTMENT～インバウンドMICE誘致強化の為にイベントプロデュース～」をテーマとした講演等を実施（開催日：平成29年1月30日、参加実績：68社106名）
- 第10回：「米国富裕層の特性と旅行傾向」をテーマとした講演等を実施（開催日：平成29年2月7日、参加実績：39社74名）
- 第11回：「酒と観光」をテーマに講演等を実施（開催日：平成29年2月16日、参加実績：27社43名）
- 第12回：「アジア人目線、様々な業界に通じるホテルにおける顧客満足度のトレンド」や「六歌仙流 インバウンドの心得」をテーマとした講演等を実施（開催日：平成29年3月8日、参加実績：53社84名）

2 賛助会員情報交換会の開催

賛助会員を対象とした賛助会員情報交換会「交流の集い」を開催し、「2020オリンピック・パラリンピック開催後を見据えて～ホテル需要と交通インフラ～」等をテーマとした講演会及び会員同士の交流を目的とした懇親会を実施した。

開催日：平成29年2月21日、参加者：198名（参加団体112団体）